

# クロモリシャフトの KOODで 高精度を 体感せよ!!

KOODのシャフトはレース界などで有名。それは素材選びから始まり、こだわり抜かれた製造過程などによって高精度が維持されているからだ。手間がかけられて作られたメイドインジャパンクオリティは走れば分かる!!

PHOTO&TEXT : NANDY KOSUGE (Office NANDY)



<CT125用KOOD製品>

フロントシャフト	H-FN-021	¥23,100(税込)
ピボットシャフト	H-PN-021B	¥26,400(税込)
リアシャフト	H-RN-021B	¥24,200(税込)

サイズ的に一緒なのですがメッキが施されているために、見た感じでKOOD製だと分かる。シャフトの頭にはワイヤリング用の穴も開けられています



シャフトの頭にはKOODの文字と品番が明記されている。今回はフロントアクスルシャフトになりますが、リアシャフトとピボットシャフトも発売されています。メッキナットも付属です!

重さを実測してみたところCT125純正は214gでKOOD製は211gでした。3gの僅かな差でしたが、軽量化というのはこういったものの積み重ねで構築していくのです



## クロモリシャフトなら 走りが大変化します!

サーキットを走るレーサーだけではなく、人とは違いを出したいカスタム好きであれば既に広まっているのがK O O D製アクスルシャフト。日本製のクロームモリブデン鋼を生材にして熱処理を加えた後にひずみをプレスで修正し、更にセインターレス研磨と3層ものメッキ加工を行うといった非常に手間が

純正と交換するだけ!



1: シャフトを交換する時はグリスアップしてから 2: 純正シャフトを取り外してKOOD製と交換します。ちなみにシャフトは車体右側から差し込みます 3: ネジ部分にはスレッジコンパウンドなどのかじり防止剤を塗布後、ナットを取り付けてから、規定トルクで締めれば完成!

かかる製法で作られています。大量生産する必要がある場合はさすがにそこまではできないが、アフターパーツメーカーのコタワリで高精度を追求しているのだ。今回はそのアクスルシャフトをCT125ハンターカブに装着してみました。いつものコースを走って見たところ、フロントに荷重をかけた時の安心感と限界値が上がりました。リアシャフトやピボットシャフトも同じように変更すれば、もっと体感しやすいはずでしょう。マニアックなパーツになりますが、走りを感じている人であれば入れる価値はありますよ!

クロモリシャフトなら  
走りに強度と粘りを追加!

